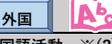


(病弱)

# 各教科等チェックシート

学部・学年	氏名
中学部〇年	〇〇 〇〇

中学部・高等部・中学校版

教科等	内容	知的障害がある児童生徒						知的障害がない児童生徒						備考				
		小学部 (段階)			中学部 (段階)			小学校 (学年)			中学校 (学年)			具体的な指導内容	指導場面 教科・単元等			
		1	2	3	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3
生活 (特別支援学校)  生活科  	ア 基本的生活習慣 イ 安全 ウ 日課・予定 エ 遊び オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ク 金銭の扱い ケ きまり コ 社会の仕組みと公共施設 サ 生命・自然 シ ものの仕組みと働き																	
国語 ※ (特)2段階 同観点 	知識及び技能 A 聞くこと・話すこと B 書くこと C 読むこと																	
社会 (中 地歴公)  社会  	知識及び技能 ア 社会生活のきまり イ 公共施設と制度 ウ 地域の安全 エ 産業と生活 オ 我が国の地理や歴史 カ 外国の様子																	
算数・数学 ※ (特)2・3段階 同観点 	A 数と計算 (中学校 数と式) B 図形 C 測定 (中学校 関数) D データの活用 数学的活動 (中学校・中学部)																	
理科 (小学校 3～6年 A 物質・エネルギー B 生命・地球)	A 生命 B 地球・自然 C 物質・エネルギー																	
音楽 	A 表現 B 鑑賞																	
図画工作 (中 美術)	A 表現 B 鑑賞																	
技術・家庭 (小学校 家庭)	A 家族・家庭生活 (中 技術分野) B 衣食住の生活 (中 家庭分野) C 消費生活・環境																	
職業・家庭 (中学部)	A 職業分野 B 家庭分野																	
保健体育 (小学部 体育)  体育  	A 体づくり運動 B 器械運動 C 陸上運動 D 水泳運動 E 球技 F 武道 G ダンス H 保健																	
外国語 	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等																	
外国語活動 ※(2)																		
特別の教科道徳※(1)																		
総合的な学習の時間																		
特別活動																		

**記載者から**  
病状による欠席・欠課が多いため、全教科において出席できた授業が少ない。そこで、現在把握できている実態でチェックした。小学校高学年の頃から登校日数が減ってきたため、おそらく教科によっては、1学年下の内容や2学年下の内容を取り入れていく必要があると考え、国語では小学校4年生段階を、理科についても小学校6年生の欄をチェックした。

全教科にわたり実施回数が少ないため、現段階では適切に把握できていない項目が多い。小学生の時の学習空白もあるので、それをカバーしながら中1の学習を進めていく必要がある。

**シート作成時のポイント**  
このチェックシートは、特別支援学校学習指導要領の中学部の教科及び内容で学ぶ生徒、また中学校学習指導要領に準ずる教育課程で学ぶ生徒を対象にして作成している。基本的には、本生徒のように、長期入院等で学習の空白があり教科によって未学習の内容がある場合、備考欄を使いながら、未学習の学年についてもチェックすることで、指導計画作成の参考になる。チェックの妥当性を気にしすぎず、指導を進めながら、随時見直し、チェックの箇所や備考への記載内容について適宜修正を加えるとよい。

※(1) 「外国語活動」：知的特別支援学校の小学部において、必要に応じて設けることができる。  
 ※(2) 「特別の教科 道徳」：小学校に準ずる(原則同一、他配慮事項あり。)

(病弱)

# 自立活動フローシート

学部・学年	中学部〇年	氏名	〇〇 〇〇
-------	-------	----	-------

発達の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさについて情報収集

実態把握	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	・寝付きがよくないことはあるが、概ね規則正しい生活を送れている。頭部への衝撃など日常生活の中で注意しなければならないことは理解している。	・特定の大人（特に母親）との関わりに安心感を得ている。不安や悩みがあっても、周囲に迷惑をかけまいと自分で抱え込む傾向にある。	・手術前と後の自分のギャップを知られたいという思いがある。できている自分を見てほしいという思いが強く、頑張りすぎてしまう。集団は苦手で、クラス以上の規模になると緊張感や不安感が生じる。	・左側の視野が狭く、意識して顔を向けられない、左側のものや人に気付かずぶつかる恐れがある。	・左手足にまひが残っている。手のふるえや、足が脱力してくずおれることがある。	・同級生よりも大人との会話や関わりを好む傾向にある。

**記載者から**  
 主治医から学校生活を送る際の注意点について指導を受けた内容を、自立活動フローシートに記載した。見え方や身体の動きについては、主治医からの助言が中心となっているが、その他については、今までの様子や引き継ぎ等で聞き取った内容を記載した。

3年後にめざす姿	自分の心身の状態、興味関心、学力など総合的に考え、適切な進路選択をすることができる。
----------	--

長期目標(年間)	○自己理解を深めることにより、自分に合った体調管理の方法や学習方法、不安やストレスへの対処法などを身に付けながら、学校生活を楽しむ。
----------	--

指導目標を達成するために必要な項目の選定

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選定した項目	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本技能	①コミュニケーションの基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性への対応	②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

コピーして利用を

選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定

具体的な指導内容	・心身の状態に応じた無理のない登校計画を立て、学校生活に慣れていく。	・少人数グループでの活動を通してコミュニケーション能力の向上を図る。	・視野や記憶などに関することで、主治医等から助言されている内容を具体的に実践する場面や方法について考え、自分に合った工夫をしながら生活する態度を養う。
	<p><b>記載者から</b>          病状に変化がみられるため、自己理解とその時の自分に合った健康管理の方法を身に付けることが大切だと考え、目標を設定した。健康の保持の④「障害の特性の理解と生活環境の調整」や人間関係の形成の③「自己の理解と行動の調整」の項目について、具体的な指導内容に入れた。</p>		

この内容で授業に取り組んだ。

指導場面(各教科・単元名)	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	自立活動	なりきりインタビューをしよう	自立活動	単元名未定 ペアや少人数のグループワークを取り入れた、コミュニケーションに関する学習	国語	「好きなもの」を紹介しよう
	自立活動	今月の振り返りと来月の登校計画	自立活動	校内道順カードを作ろう	国語	作品を読み深める～登場人物や情景の描写に着目して朗読をしよう～

※ 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)より抜粋及び参照。(P. 144～147)

(病弱)

中学部普通学級 第〇学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年〇月〇日 (〇)

校時 11時10分～11時50分

生徒数 1名

場 所 中学部〇年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名

食べ物クイズに挑戦 ～表現を工夫して、相手に伝わるように書く～

使用教材：言葉を集めよう もっと「伝わる」表現をめざして (『国語1』光村図書)

2 単元について

(1) 教材観

(省略)

(2) 生徒観

(省略)

(3) 指導観

授業者から

自立活動フローシートに記載したように、健康状態への不安や焦燥感も予想されるため、本単元は、本人が興味を持って楽しく取り組むことができる学習活動を設定した。



生徒観の項でも述べたように、本生徒は退院後、「楽しい」「もっと学校に行きたい」という意欲を改めて育てている段階にある。体力や動作の面で、手術前とは違い、思うようにいかないことに不安や焦燥感を抱くことも予想される。そのような生徒の心身の状態にも配慮し、本単元では「好きな食べ物クイズを作る」という、興味を持って楽しく取り組めるような学習活動を設定した。クイズ作りの際には他の生徒の作品も提示し、交流の中で様々な表現の工夫を学ぶ機会も確保する。生徒自身はゲームを楽しむような感覚で取り組めるように配慮しながら、語彙力や表現力など国語科としての資質・能力を育成できるような指導を進めたい。

3 単元の目標

(1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

[知識及び技能] (1) ウ

(2) 読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、文章を整えることができる。

[思考力・判断力・表現力等] B (1) エ

(3) 語句のわずかな差異や多様性に気付き、工夫を重ねて自らの表現を見直そうとすることができる。

[主体的に学習に取り組む態度]

4 本単元における言語活動

好きな食べ物について、その魅力が伝わるように紹介文(クイズ)を書く活動。

(関連：言語活動例ウ)

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 〔知識及び技能〕(1)ウ	①書くことにおいて、読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、文章を整えることとして	①積極的に表記や語句の用法、表記の仕方などを確かめ、今までの学習を想起して紹介

**授業者から**  
本来であれば3時間で行いたい単元だが、体調による出席状況や授業のペース等を配慮し、2時間に縮小して単元を設定した。

## 6 単元計画 (2時間)

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・ 評価方法
1	○食べ物の特徴を表現するための観点を立てる。  ○観点ごとに思いつく言葉を集め、イメージマップを作る。  ○イメージマップをもとに紹介文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもって取り組めるように、いろいろな食品のパッケージを提示する。</li> <li>・それぞれの言葉が何を表すかを考えるよう促し、観点到気付くことができるようにする。</li> <li>・観点到沿って、まずは思いつくままにマッピングを進めるようにする。</li> <li>・挙げた言葉と似た意味の言葉、反対の意味の言葉を考えるよう言葉をかける。</li> <li>・「おいしい」という言葉は使わないことを条件にする。</li> <li>・様々な表現の工夫に気付くことができるよう、同じ食べ物を題材にした、他の生徒や教師の紹介文を提示する。</li> </ul>	知識・技能① 観察・ワークシート  知識・技能① 観察・ワークシート
2	○好きな食べ物を選び、イメージマップにまとめる。  ○イメージマップをもとに紹介文(クイズ)を書く。  ○学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズに取り組めるように、前時の学習を想起したり、ワークシートを見直すよう言葉をかけたりする。</li> <li>・選んだ題材の写真を提示し、表現のイメージを膨らませる。</li> <li>・書くことが難しい場合には、観点到を絞ったり、自分が感じたおいしさと合うような表現を選ぶよう言葉をかけたりする。</li> <li>・誤字脱字、漢字と仮名の使い分け、一文の長さなどのポイントに沿って、書いたものを読み直すよう促す。</li> <li>・今回の学習で気が付いたこと、工夫したことを中心に感想を書くようにする。</li> </ul>	知識・技能① ワークシート  思考・判断・表現① 主体的に学習に取り組む態度① ワークシート

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・食べ物の特徴やおいしさを伝えるための言葉を観点に沿って集め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1) ウ

### (2) 本時の展開 (1/2)

時	学習活動	指導上の留意点	教材・教具等
4	1 本時の活動内容を 確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を始める際に体調を確認する。その後も適宜声をかけ、体調に応じて休憩を入れる。</li> <li>・過度の緊張を避けるよう、教卓は使わず教室後方のテーブルに教師も共に着席する。</li> </ul>	
8	2 食べ物の特徴を表現するための 観点を立てる。	<p>食べ物のおいしさを伝える言葉をたくさん集めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもって取り組めるような問いの 入ったいろいろな問いを用意する。</li> <li>・それぞれの言葉が何を感じさせるか、 考えるようにする。</li> <li>・音や状態を表す言葉を オフにしたり、オンにしたりすること、その効果についても触れる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【着目する言葉と導き出す観点の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっとり、サクサク、とろける、など→食感</li> <li>・あっさり、濃厚、こく→味</li> <li>・香ばしい、さわやか→かおり</li> </ul> <p>この他、「見た目」「栄養」「温度」などにも触れる。</p> </div>	
13	3 観点ごとに思 いつく言葉を集 め、イメージマッ プを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点に沿って、まずは思いつくままにマッピングを進めるようにする。</li> <li>・挙げた言葉と似た意味の言葉、反対の意味の言葉を考えるよう言葉をかける。</li> <li>・濁点をつけたり、語句を重ねる回数を変えたりするよう言葉をかけ、似たような言葉でも違った語感が生まれることに気付くようにする。(サクサク・ザクザク、ふんわり・ふわふわ、など)</li> <li>・言葉が思いつかない場合は、いくつかの食品の写真を提示し、味、食感、かおり、見た目など言葉のイメージを膨らませるようにする。</li> </ul> <p>評濁点の有無や語句を重ねる回数による語感の違いを感じ取り、イメージマップを広げているか。〔知識及び技能①〕(観察・ワークシートの記述)</p>	ワークシート 食品の写真
13	4 イメージマッ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージを膨らませるために写真を提示する。</li> </ul>	ワークシート

授業者から  
あらかじめ体調に配慮した内容を「指導上の留意点」に記載したが、さらにその日の体調を確認し、内容や時間等について柔軟な対応が必要と予想される。

2	5 次時の学習について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おいしい」という言葉を使わずにおいしさを表現するよう言葉をかける。</li> <li>・次時の学習のイメージをつかむための活動なので、上記の条件のみ提示し、あとは自由に書くようにする。</li> <li>・書くことに疲労を感じている場合は、教師が代筆する。</li> <li>・一文の長さ、前後のつながりなど、論理構成については本時ではあえて指摘しないようにし、伝えたい内容に合った言葉をイメージマップから選ぶことに主眼を置く。</li> <li>・様々な表現の工夫に気付くことができるよう、書き上げた後、同じ物を題材にした他の生徒や教師の紹介文を提示する。</li> </ul> <p>評 コーンスープの特徴やおいしさを表現するのにふさわしい言葉を選んで書いているか。[知識及び技能①] (観察・ワークシートの記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習をもとに、食べ物クイズを作ることを知らせ、見通しを持つことができるようにする。</li> </ul>	
---	------------------	--	--

(3) 本時の評価

- ・食べ物の特徴やおいしさを伝えるための言葉を観点に沿って集め、語感を磨き語彙を豊かにすることができたか。[知識および技能] (1) ウ

## 中学部普通学級 第〇学年 国語科学習指導案

日 時 令和元年〇月〇日 (〇) 〇校時  
場 所 中学部〇年教室  
指導者 〇〇 〇〇

### 1 単元名

食べ物クイズに挑戦 ～表現を工夫して、相手に伝わるように書く～

使用教材：言葉を集めよう もっと「伝わる」表現をめざして (『国語1』光村図書)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

この教材は、語彙力をつけ、表現力を豊かにすることを目的としたものである。具体的には、表現の観点に沿って様々な言葉を集め、マッピングすることに取り組み、さらにそれらを効果的に選択・構成して紹介文(クイズ)を書くという活動を設定している。「相手に伝わる」ことを目的として段階を踏んだ学習に取り組む中で、今後様々な形態の文章を書く上での語彙の充実、表現力や論理構成力の基礎を築くことのできる教材である。

#### (2) 生徒観

本生徒は小学生の時に手術・入院を経験している。本校中学部に入学してからは、心身の負担への配慮から週3日、3・4校時のみの登校から始め、徐々に日数と時間を延ばし、まず学校生活に慣れることを目標に支援を進めてきた。その後、再度手術・入院をし、退院後に登校を始めてからまだ日が浅いため、前期よりも更に心身の状態に配慮を要する状況である。

学習態度は真面目で、登場人物の気持ちや、詩からイメージした情景を根拠と共に述べるなど、自分の考えを明確に述べることができる。本単元では、五感を働かせて言葉を集め、それらを効果的に組み立てることで、さらに表現力を豊かにするための語彙力を身につけさせたい。

#### (3) 指導観

生徒観の項でも述べたように、本生徒は退院後、「楽しい」「もっと学校に行きたい」という意欲を改めて育んでいる段階にある。体力や動作の面で、手術前とは違い、思うようにいかないことに不安や焦燥感を抱くことも予想される。そのような生徒の心身の状態にも配慮し、本単元では「好きな食べ物クイズを作る」という、興味を持って楽しく取り組めるような学習活動を設定した。クイズ作りの際には他の生徒の作品も提示し、交流の中で様々な表現の工夫を学ぶ機会も確保する。生徒自身はゲームを楽しむような感覚で取り組めるように配慮しながら、語彙力や表現力など国語科としての資質・能力を育成できるような指導を進めたい。

### 3 単元の目標

(1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

[知識及び技能] (1) ウ

(2) 読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、文章を整えることができる。 [思考力・判断力・表現力等] B (1) エ

(3) 語句のわずかな差異や多様性に気付き、工夫を重ねて自らの表現を見直そうとすることができる。 [主体的に学習に取り組む態度]

#### 4 本單元における言語活動

好きな食べ物について、その魅力が伝わるように紹介文(クイズ)を書く活動。

(関連：言語活動例ウ)

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知識及び技能] (1) ウ	①書くことにおいて、読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、文章を整えている。 [思考力・判断力・表現力等] B (1) エ	①積極的に表記や語句の用法、表記の仕方などを確かめ、今までの学習を想起して紹介文(クイズ)を書こうとしている。

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	○食べ物の特徴を表現するための観点を立てる。  ○観点ごとに思いつく言葉を集め、イメージマップを作る。  ○イメージマップをもとに紹介文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもって取り組めるように、いろいろな食品のパッケージを提示する。</li> <li>それぞれの言葉が何を表すかを考えるよう促し、観点到気付くことができるようにする。</li> <li>観点到沿って、まずは思いつくままにマッピングを進めるようにする。</li> <li>挙げた言葉と似た意味の言葉、反対の意味の言葉を考えるよう言葉をかける。</li> <li>「おいしい」という言葉は使わないことを条件にする。</li> <li>様々な表現の工夫に気付くことができるよう、同じ食べ物を題材にした、他の生徒や教師の紹介文を提示する。</li> </ul>	知識・技能① 観察・ワークシート  知識・技能① 観察・ワークシート
2	○好きな食べ物を選び、イメージマップにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スムーズに取り組めるように、前時の学習を想起したり、ワークシートを見直すよう言葉をかけたりする。</li> <li>選んだ題材の写真を提示し、表現のイメージを膨らませる。</li> </ul>	知識・技能① ワークシート

	<p>○イメージマップをもとに紹介文(クイズ)を書く。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことが難しい場合には、観点を絞ったり、自分が感じたおいしさと合うような表現を選ぶよう言葉をかけたります。</li> <li>・誤字脱字、漢字と仮名の使い分け、一文の長さなどのポイントに沿って、書いたものを読み直すよう促す。</li> <li>・今回の学習で気が付いたこと、工夫したことを中心に感想を書くようにする。</li> </ul>	<p>思考・判断・表現①</p> <p>主体的に学習に取り組む態度①</p> <p>ワークシート</p>
--	--	--	--

## 6 単元計画 (2時間)

### 7 本時の展開

#### (1) 本時の目標

- ・食べ物の特徴やおいしさを伝えるための言葉を観点に沿って集め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。[知識および技能] (1) ウ

#### (2) 本時の展開 (1/2)

時	学習活動	指導上の留意点	教材・教具等
4	1 本時の活動内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を始める際に体調を確認する。その後も適宜声をかけ、体調に応じて休憩を入れる。</li> <li>・過度の緊張を避けるよう、教卓は使わず教室後方のテーブルに教師も共に着席する。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>食べ物のおいしさを伝える言葉をたくさん集めよう。</p> </div>			
8	2 食べ物の特徴を表現するための観点を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもって取り組めるように、説明文やキャッチコピーの入ったいろいろな食品のパッケージを提示する。</li> <li>・それぞれの言葉が何を表すかを考えることで、観点に気付けるようにする。</li> <li>・音や状態を表す言葉をオノマトペ(擬態語・擬声語)と呼ぶこと、その効果についても触れる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【着目する言葉と導き出す観点の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっとり、サクサク、とろける、など→食感</li> <li>・あっさり、濃厚、こく→味</li> <li>・香ばしい、さわやか→かおり</li> </ul> <p>この他、「見た目」「栄養」「温度」などにも触れる。</p> </div>	食品のパッケージ(実物)
13	3 観点ごとに思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点に沿って、まずは思いつくままにマッピングを進める</li> </ul>	ワークシート

	<p>いくつか言葉を集め、イメージマップを作る。</p>	<p>ようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挙げた言葉と似た意味の言葉、反対の意味の言葉を考えるよう言葉をかける。</li> <li>・濁点をつけたり、語句を重ねる回数を変えたりするよう言葉をかけ、似たような言葉でも違った語感が生まれることに気付くようにする。(サクサク・ザクザク、ふんわり・ふわふわ、など)</li> <li>・言葉が思いつかない場合は、いくつかの食品の写真を提示し、味、食感、かおり、見た目など言葉のイメージを膨らませるようにする。</li> </ul> <p><b>評</b>濁点の有無や語句を重ねる回数による語感の違いを感じ取り、イメージマップを広げているか。[知識及び技能①] (観察・ワークシートの記述)</p>	食品の写真
13	<p>4 イメージマップをもとに、好きな食べ物(コーンスープ)の紹介文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージを膨らませるために写真を提示する。</li> <li>・「おいしい」という言葉を使わずにおいしさを表現するよう言葉をかける。</li> <li>・次時の学習のイメージをつかむための活動なので、上記の条件のみ提示し、あとは自由に書くようにする。</li> <li>・書くことに疲労を感じている場合は、教師が代筆する。</li> <li>・一文の長さ、前後のつながりなど、論理構成については本時ではあえて指摘しないようにし、伝えたい内容に合った言葉をイメージマップから選ぶことに主眼を置く。</li> <li>・様々な表現の工夫に気付くことができるよう、書き上げた後、同じ物を題材にした他の生徒や教師の紹介文を提示する。</li> </ul> <p><b>評</b>コーンスープの特徴やおいしさを表現するのにふさわしい言葉を選んで書いているか。[知識及び技能①] (観察・ワークシートの記述)</p>	ワークシート
2	<p>5 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習をもとに、食べ物クイズを作ることを知らせ、見通しを持つことができるようにする。</li> </ul>	

### (3) 本時の評価

- ・食べ物の特徴やおいしさを伝えるための言葉を観点に沿って集め、語感を磨き語彙を豊かにすることができたか。[知識および技能] (1) ウ